

〜〜『クルマ大集合』のはじまり〜〜

船津 真弥 大阪府都市整備部交通道路室道路整備課

平成 14 年度から始まった交通環境学習プログラム。初めて取り組んだ「かしこいクルマの使い方を考える」教材の取り組みでは、多くの方々からのご協力をいただいて、交通ダイアリーやCO<sub>2</sub>現況カルテの作成、家庭での話し合いによる行動プランづくりなどをはじめ盛りだくさんの内容の学習を行った。子どもたちの取り組みはすばらしく、多くの成果を得たが、子どもたちや先生方には作業の多さなどの負担が、そしていまひとつ子供たちの心を惹き付けるものが足りないという課題が残された。

そこで、翌年度（平成 15 年度）には、取り組みを始める前に、学校の先生、府市の行政担当者、学識経験者、そしてコンサルタントなどの関係者が集まって、前年度の課題についてその対応を相談した。議論の一つが“子ども達が目を輝かせるようなものは？”であり、みんなで頭をひねっていたところ、学校の先生から「子どもたちの意見が分かれて議論が百出するようなクイズがほしいなあ。」、そして「実物に触れたい。本物に接することで子どもたちは感動する。」という声があがった。これがきっかけで「いろんなクルマを目の前にしたら、子供たちは喜ぶんちゃうかな？」と。そして「確かにそうやな〜。」、「大阪府の環境部が『ソーラーカー』や『燃料電池車』を持っていたんとちゃうか？」、「それやったら、市に天然ガス車あるからそれ持ってこれるな。」、「校長先生のクルマはハイブリッド車？バイクで通勤している先生もいたんとちゃうか？」と、トントンと話が進み、関係者が走り回って気が付けば『天然ガス車（ゴミ収集車）、電気自動車、ソーラーカー、ディーゼルトラック、そして校長先生のクルマも・・・』と層層たるクルマが出揃った。また、こんないろんなクルマが出揃ったのなら、体験乗車だけでなく排気ガスの違いを比べてもらう実験もしようといろんなアイデアが生まれてきた。そして豊中市立東泉丘小学校で、初の「いろんなクルマ大集合」を実施！！

開始前から校舎の窓から覗き込む子供たち。子供たちからは、「何が始まるんやろ？」との声。そして、実際に『いろんなクルマ』を目の前にすると、みんな揃って興味深々な顔でクルマを観ていた。そんな中で、子供たちはいろんな車に乗ったり、排気ガスの違いを目で見たりと様々な経験を体験でき大満足の様子。こうして初の『いろいろなクルマ大集合』は、子どもたちの大きな感動の中で締めくくられた。

この初めての「いろいろなクルマ大集合」が出発点となって、さらにバス会社さんやNPOなどにも広がった多くの方々のご協力で、今日も「クルマ大集合」は進化し続けている。関係者が“大集合”して子どもたちのために悩んだあの日の“一言”が、「クルマ大集合」を生んだのである。

